

答申に向けて検討が必要な事項（案）

1 高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革

○ 改革の目標

高等学校教育：「共通に身につけるべき基礎学力」の保証と、生徒の「多様性の重視・主体性の涵養」

大学教育：多様な学生に対する「主体的に学び、考える力」の育成

大学入学者選抜：各大学の入学者選抜と国レベルで実施するテスト（※）の連携による高等学校教育・大学教育改革の目標達成の支援

※「達成度テスト（基礎レベル）（仮称）」及び「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」

○ 改革の方法

高等学校教育：「基礎学力」の保証のためのテストの導入

多様な生徒のための学習方法・教育方法の開発と実践

大学教育：多様な学生が多様な方法で「主体的に学び、考える力」を身につけることのできる学習方法・教育方法の開発と実践

大学入学者選抜：各大学による、多様性と主体性を重視した選抜方法の開発と実践

受検者の多様性のもとで「主体的に学び、考える力」を評価するテストの導入

各大学の入学者選抜方法と国レベルで実施するテストの連携

2 各大学の大学入学者選抜の在り方

○ 入学志願者の多様な背景と主体性を重視

（高校時代の多様な経験や活動歴、主体的に学ぶ力、大学での学修に対する意欲等を適切に評価）

○各大学における多様性と主体性を重視した入学者選抜方法の開発を支援

- 各大学によるアドミッションポリシーの明確化による選抜方法の明示
 - ・入学志願者の多様で主体的な活動経験・学習経験を評価
 - ・討論や発表、小論文、面接、実験、実技等で多面的・総合的に評価
 - ・「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」において各大学が入学志願者に求める水準を明示

- 各大学の大学入学者選抜方法と「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」の連携
 - ・各大学の入学者選抜は多様性・主体性に基づく総合力の評価
 - ・「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」は、知識・技能の活用力の評価を中心とし、各大学の入学者選抜方法と連携する

3 国レベルで実施するテストの在り方

- 「達成度テスト」の基本的な枠組み
 - ・「達成度テスト（基礎レベル）（仮称）」は、上記の高等学校教育の改革の目標のうち、基礎学力の保証及び生徒の学習改善を目的とする
 - ・「達成度テスト（発展レベル）（仮称）」は、上記の大学教育の改革の目標のうち、多様な学生が「主体的に学び、考える力」を身につけるための基盤となる、知識・技能を活用する力の向上を図ることを目的とする

- 上記の目的を達成するための、「達成度テスト」の内容及び実施方法と、それらを実現するための技術的・専門的検討

高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革に関する考え方(案)

1. 基礎学力の保証と、多様性の重視・主体性の涵養

- 教科ごとの知識・技能の習得のみを中心とするのではなく、共通に身につけるべき基礎学力を確保しつつ、主体的に学び、考える力や、多様性等も重視した資質・能力を総合的に育成する教育の実現を、小、中、高、大を通じて完遂することが喫緊の課題。
- PISAにおける好成績、総合的な学習の時間の取組や言語活動(論述、グループ討議、プレゼン、討論等)の充実等に代表されるように、義務教育段階での改革は成果を上げつつあるが、高校教育及び大学教育、さらにこれをつなぐ大学入学者選抜における改革が不十分。高校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的改革が必要。

2. 高校教育の改革

「共通に身につけるべき基礎学力」の保証と、生徒の「多様性の重視・主体性の涵養」

- ◆ 現行入試を念頭に置いた知識中心の教育を改め、創造性やリーダーシップ、企画力などの多様な資質・能力を育成を重視。一方的に教えられる受け身の学習から、多様な生徒が主体的・協働的に学ぶ学習に転換するため、学習方法・教育方法を開発・実践。教育課程の在り方全体についても見直し。
- ◆ ボランティアや留学等も含め、学校内外の様々な学習歴や活動実績等の評価を通じて、狭義の学力にとどまらない幅広い資質・能力を多面的に評価。
- ◆ 高校段階で共通に求められる基礎学力を保証するため、「達成度テスト(基礎レベル)」を導入、学力を底上げ。

3. 大学教育の質的転換

多様な学生に対する「主体的に学び、考える力」の育成

- ◆ 従来の知識の伝達・注入を中心とした授業から、学生同士が切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修(アクティブ・ラーニング)へ転換するなど、大学教育を質的に転換。
- ◆ 様々な能力や得意分野、異なるバックグラウンドを持った多様な学生を確保し、学内のダイバーシティを創出。
- ◆ 学生の学修成果を重視し、厳格な成績評価や卒業認定により社会からの評価・信頼を向上。

一体的に改革

4. 大学入学者選抜の改革

各大学の入学者選抜と国レベルで実施するテスト*の連携による高校教育・大学教育改革の目標達成の支援

- ◆ 過度に公平性・客観性を重視するあまり、測定しやすい能力の一部の評価や入学者選抜の一時点で有している能力の評価に留まっている選抜方法を抜本的に改善。知識・技能のほか、これらを活用する力や意欲、適性、経験等を多面的・総合的に評価するものに転換。
- ◆ 知識・技能及びそれらを活用する力については、「達成度テスト(基礎レベル及び発展レベル)」や外部の資格・検定試験等を活用し、各大学が求める一定の水準に達していることを確認することを基本とする。
その上で、各大学のアドミッション・ポリシーに応じて、入学志願者の高等学校等における学習の記録や様々な活動の経験、討論や発表、小論文、面接、実験、実技などを多面的・総合的な評価を行い可否を決定する方式に転換。

*「達成度テスト(基礎レベル)(仮称)」及び「達成度テスト(発展レベル)(仮称)」

高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革に関する 具体策のイメージ(案)

教育内容の改革

知識・技能のみならず、高い志や意欲を持つ自立した人間として、他者と協働しながら、新しい価値を創造するために必要な創造性やリーダーシップ、企画力などの多様な資質・能力を育成する教育に転換。

◆ディプロマ・ポリシーの明確化を推進

- ・大学評価や重点支援等を通じ、各大学における育成すべき資質・能力の明確化と、教育課程を体系化を推進

◆入学後の進路変更を柔軟化 学び直しを行える学習環境も整備

◆高大の教育連携を強化

- ・大学の積極的な情報提供(「大学ポートレート」など、大学の教育情報公開の仕組みを整備)
- ・大学教育に触れる機会の充実(日本版アドバンスト・プレイズメントの実施、JMOOCSの活用)

◆知識中心の教育からの脱却

- ・学力3要素※の総合的な育成を目指す教育を周知徹底
※学力の3要素:知識・技能、思考力・判断力・表現力、学習意欲

◆多様なニーズに応じた学習環境(学び直し、才能・個性を伸ばす教育等)整備

- ◆これからの時代に求められる資質・能力に基づき、教科・科目構成や教育内容を更に見直し

○これからの時代に求められる資質・能力に基づき、教科構成、内容等を見直し(道徳教育、英語教育の充実等)

小・中学校教育

学習・指導方法の改革

知識の伝達を中心とした受け身の学習から、課題解決に向けた主体的・協働的な学習に転換。

インターンシップ、ボランティア、留学等主体的に取り組む多様な活動を充実。

◆アクティブ・ラーニングへの転換

- ・大学評価や重点支援等を通じ、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修や、双方向の授業中心の教育に転換

◆インターンシップ、留学体験等、能動的な学修への転換(トビタテ! 留学JAPAN等)

◆主体的・協働的な学習への転換

- ・指導方法を開発・実践、ICTを積極活用
- ・教職員の指導力向上

◆言語活動(論述、グループ討議、プレゼン、討論等)の充実

- ◆インターンシップ、ボランティア、留学、部活動等の、主体的に取り組む多様な活動を充実(トビタテ! 留学JAPAN等)

○言語活動の充実、体験活動の充実
○課題解決に向けた主体的・協働的な学習の充実、ICT活用の指導の充実

評価方法の改革

知識・技能のみならず、これらを活用する力や、意欲、適性、経験等を多面的・総合的に評価できるよう、評価方法を転換。

大学入学者選抜の改革により、高校教育、大学教育を通じた評価の連続性を確保。

◆厳格な成績評価の推進

- ・大学評価や重点支援等を通じ、GPA等の成績評価・管理システムの活用促進等、各大学の組織的取組を促進

◆客観的な評価システム活用のための条件整備

多様性・主体性を重視した選抜への転換

◆アドミッション・ポリシーの明確化

- ・求める資質・能力が具体化されるようガイドラインを策定

◆各大学の個別入試改革の促進

- ・大学評価や重点支援等を通じ、能力・意欲・適性を多面的・総合的に評価する入試となるよう、強かに推進

◆達成度テスト(発展レベル)の導入

- ◆調査書の記載事項の見直し(多様な活動歴を反映)

◆多様な評価方法の開発・普及

- ・多面的な評価を徹底するため、指導要録を改善
- ・ポートフォリオ(学習履歴)作成推奨や、ルーブリック等の多様な評価方法を開発・普及

◆検定試験、各種大会や顕彰制度の活用を拡大

- ◆達成度テスト(基礎レベル)導入、調査書に添付

- ◆各人の能力・適性等を踏まえた進路指導に転換

○求められる資質・能力の観点からの評価の充実
○全国学力・学習状況調査(活用力問題を含む)の活用

大学入学者選抜の転換のイメージ

一般入試・推薦入試・AO入試の区分を見直し、入学者選抜全体において、多面的・総合的に評価する総合型選抜へ抜本的に改革

